

2009, 9, 9 (水)

徳大病院に糖尿病外来

来月から 専門医1人を増員

徳島大学病院は10月1日
日から糖尿病患者専門の

外来を開設する。現在、
糖尿病患者は内分泌・代
謝内科（医師8人）で週
4日診療しているが、医
師1人を増員することで
専門外来として独立さ
せ、週5日診療できるよ
うにする。8日の「知的
クラスター本部会議」
で、徳島大の青野敏博学
長が明らかにした。

糖尿病外来は、内分泌

・代謝内科外来診療室の
1室に設け、月々金曜日
に開く。診療の受付時間
は午前8時半～同11時。
担当するのは、徳島大糖
尿病対策センターの船木
真理教授を新たに加えた
糖尿病の専門医ら5人。
体制強化によって合併
症で治療困難な症例な
ど、ほかの病院から紹介
を受けた患者を数多く迎
えるとともに、糖尿病死
亡率全国ワースト1位か
らの脱却を目指す。

徳島大を中心に進めて
いる県の「知的クラスター
創成事業」では、糖尿
病外来が治療や診断法開
発の中心的役割を担うた
多臓器にわたる合併症治
療にも対応する。

糖尿病薬開発などで連携

県の拠点 産学官会議が初会合



今後の事業の進め方を確認した
「知的クラスター本部会議」の
初会合。徳島市内の徳島グラン
ヴィリオホテル

徳島県が2009年度
から産学官連携で取り組
む、糖尿病の世界的な研
究開発治療拠点の集積事
業を統括する「知的クラ
スター本部会議」の初会
合が8日、徳島市内の徳
島グランヴィリオホテル
で開かれ、今後の事業の
進め方を確認した。

大学や企業、医療関係
者ら約60人が出席。本部
長の飯泉嘉門知事が「観
光や健康、医療を切り口
に、世界的な糖尿病拠点
を築きたい。関係者が協

力し、100年に一度の
経済危機の暗雲を払拭す
るヒントをつかんでほし
い」とあいさつした。

長尾善光徳島大副学長
らが、徳島大の糖尿病臨
床・研究開発センターを
中心に、大学や企業が連
携して①治療法の治療薬
と機能性食品②検査・診
断装置③在宅治療などに
使える情報通信技術④の
4分野で研究や事業化を
進めることを説明。

徳島大の研究者らから
は、スタチンの搾りかすを
使った機能性食品開発
などの具体的な研究内容
が説明されたほか、企業
関係者からは「徳島か
ら世界で役立つ薬剤を開
発したい」「事業を生か
して観光を盛り上げよ
う」といった意見が出
た。

事業は、地域の特徴を
生かした産業創出を支援
する文部科学省の知的ク
ラスター創成事業に選ば
れており、毎年3億円程
度の事業費が09～13年度
の5年間支給される。